

学びの教室 授業指導案

クラス
対象年齢： 年長～小2

8 月 1 週目
作成者： 眞本 千恵

テーマ	「位取り」の概念を理解し、「くり上がり」「くり下がり」の計算のスキルを身に付ける
めあて	くり上がり、くり下がり、位取りを中心に数を10のまとまりとして捉えることを学び、実生活に根ざした計算のスキルを身に付ける

時間	めあて	指導教材	板書No.	授業展開と留意点	生徒の行動
10分	<導入>視覚トレーニング				先生の話聞く。
10分	10の合成分解を理解する	1から10と書いたうちわ	板書No.1	①先生が1と9の数字のうちわを持って「1と9で10ですよ」と歌う。歌ったらもとに戻す。「2と8で10ですよ」と歌ったらもとに戻す。同様に「もしもしかめよかめさんよ」に合わせて次のところを歌う。②うちわを数字順に半円状に並べて生徒にとってもらおう。	1、最初は先生と一緒に歌う。2、生徒が交替しながらうちわを取って元に戻す。
10分	10ごとのまとまりとして大きさをとらえる感覚をうながし、位取りの理解につなげる	卵のパックなどの10個もが入る容器(人数×2)、操作するブロックやおはじきなど		①卵のパックにブロックを入れ、10個のまとまりと、バラの口個と整理し、10といくつ、13は10と3と言いながら実際にブロックを操作してみる。②生徒に問題を出してブロックを操作してもらおう。④プリントをやってもらおう。	1、最初は先生と一緒にブロックを操作する。2、先生の出した問題の通りブロックを操作して答える。3、プリント学習をする。
10分	くり上がりの練習をする		板書No.2	①たされる数があといくつで10になるのか聞く②たす数から、その数をたされる側に移して10のまとまりをつくる③残りを数えて合わせる。④プリント学習をしよう。	1、先生の指示通りブロックを使って数を操作する。2、プリント学習をしよう。
10分	くり下がりの練習をする		板書No.3	①ひく数をひかれる数の一のくらいから引けるか生徒に聞く。→ひけない②ひかれる数を10といくつに分ける。③10からひく④ひいたのこりの数と一の位の数を足す(ブロックで操作する)⑤プリント学習をしよう。	1、先生の指示通りブロックを使って数を操作する。2、プリント学習をする。
10分	読み聞かせ				

宿題 のびじゃん

板書No.1	板書No.2	板書No.3
「もしもしかめよ」の替え歌で「1と9で10ですよ」「2と8で10ですよ」「3と7で10ですよ」「4と6で10ですよ」「5と5で10ですよ」「6と4で10ですよ」「9と1も10ですよ」「全部10になりました」	例題 8+3	例題 13-5

6 たし算の式を作る

2 答えが10になるたし算



答えが 10になる たし算を つくって みましょう。

$$\square + \square = 10$$

$$\square + \square = 10$$

$$\square + \square = 10$$

$$\square + \square = 10$$

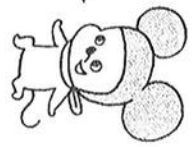
$$\square + \square = 10$$

例 $5 + 5 = 10$

教材のポイント
答えが10になるたし算。作ってみる教材です。一人では難しい場合には親の数の数だけ書き入れてあげて練習させてみましょう。おはしきなどを使って考えさせてみましょう。

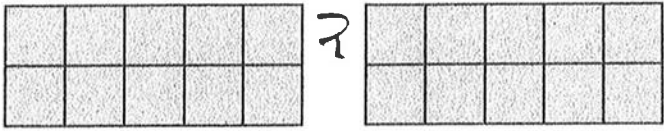
指導記 (できたら〇で囲みましょう)
一人できた! (できた!) (できた!) (できた!) (できた!) (できた!) (できた!) (できた!) (できた!) (できた!) (できた!)

みんな 10になったかな。

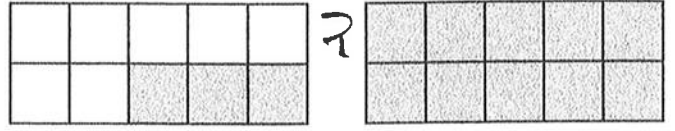


月 日 名まえ

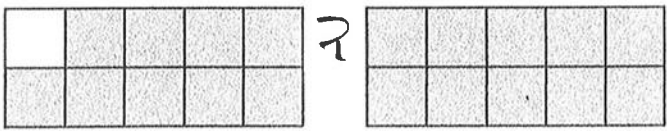
$$\square = 01 + 01$$



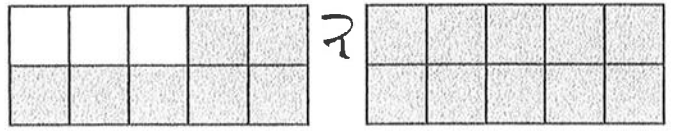
$$\square = 3 + 01$$



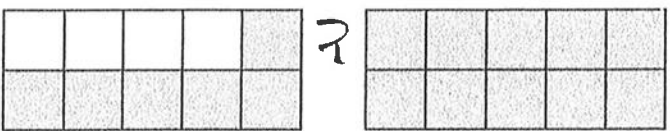
$$\square = 6 + 01$$



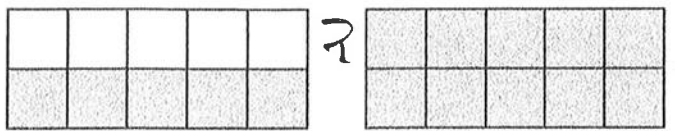
$$\square = 4 + 01$$



$$\square = 9 + 01$$



$$\square = 5 + 01$$



自分に合っただし算の手法を見つける

【その2】10のかたまりを使う

① たす数を分解する

教材のポイント

「7+8」のように答えが10を超えるたし算の場合に、先に「7+3」で10をつくらせて、後から「5(8-3)」をたして答えを出す方法です。わかりにくい場合は、別の方法をさがしておきましょう。

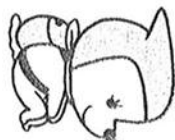
指し記 (できたら〇で囲みましょう)

できた (できた)

できた (できた)

できた (できた)

できた (できた)



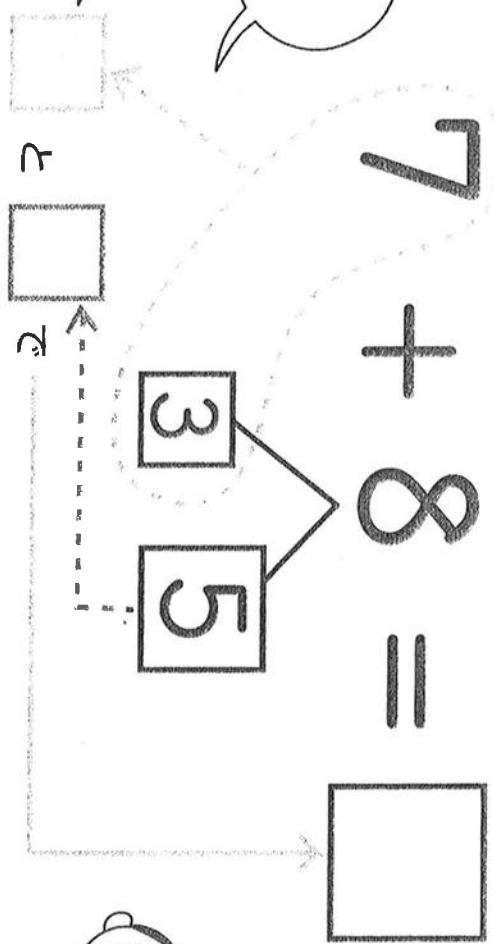
10のかたまりをつくらせてたし算をしましょう。

月 日

なまえ

●ポイント●
こちらがわの数を10にしましょう。

7+3



まず 10をつくるんだね。



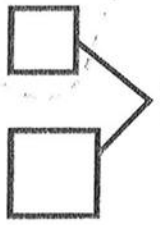
●チェックポイント●
「10のかたまり」のいみがわかりますか。
(はい・いいえ)



上のやり方でたし算をしましょう。

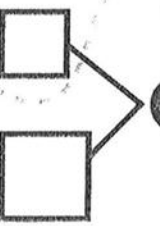
6 + 5 =

10



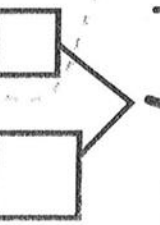
8 + 6 =

10



5 + 7 =

10



11 くりあがり 2

10のまとまりをつくるのに、うつすかずを○でかこんで、けいさんしましょう。

てほん

$$8 + 3 = \boxed{11}$$

$$7 + 5 = \boxed{12}$$

れんしゅう

$$8 + 3 = \boxed{}$$

$$7 + 5 = \boxed{}$$

$$9 + 2 = \boxed{}$$

$$7 + 4 = \boxed{}$$

$$8 + 5 = \boxed{}$$

$$5 + 5 = \boxed{}$$

$$6 + 5 = \boxed{}$$

$$9 + 4 = \boxed{}$$

16 たしざんの まとめ

くりあがりのない たしざんと くりあがりのある たしざんを
いっしょに れんしゅう します。

$3 + 2 = \square$

$10 + 4 = \square$

$13 + 5 = \square$

$6 + 4 = \square$

$8 + 5 = \square$

$7 + 4 = \square$

$3 + 7 = \square$

$12 + 4 = \square$

$16 + 3 = \square$

$10 + 7 = \square$

$15 + 2 = \square$

$7 + 6 = \square$

$9 + 4 = \square$

$12 + 0 = \square$

自分に合ったひき算の方法を見つける

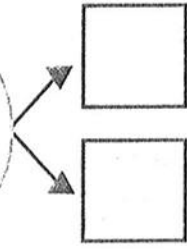
(その2) 10のかたまりを使う

② ひかれる数を分解してひき算をする(2)



ひき算を
しまし
よう。

16 - 7 = ?



①
先に 10から
7を
ひきます。

$10 - 7 = \square$

②
6を
たします。

$\square + \square = \square$

たしかめをして みよう

答え $\square + 7 = \bigcirc$

⑬に なったかな。

教材のねらい

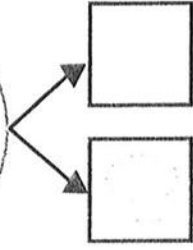
「16-7」のような場合 「16」を10と6に分解して 「10-7」を計算して、そこから「6 (16-10)」をたす方法です。わかりにくいようであれば、別の方法で選めましょう。

指導記

(できたら○で囲みましょう)

なまえ
月 日

14 - 9 = ?



①
先に 10から
9を
ひきます。

$\square - 9 = \square$

②
4を
たします。

$\square + 4 = \square$

たしかめをして みよう

答え $\square + 9 = \bigcirc$

⑭に なったかな。

15 くりさがり 3

10のまとまりからひいたときののこりのかずを かいて
けいさん しましょう。

てほん

$10 - 8 = 2$

2

わすれないでね。

$13 - 8 = 5$

れんしゅう

$13 - 8 = \square$

$16 - 9 = \square$

$14 - 8 = \square$

$12 - 6 = \square$

$15 - 6 = \square$

$14 - 7 = \square$

$13 - 5 = \square$

$11 - 8 = \square$

17 ひきざんのまとめ

くりさがりのない ひきざんと くりさがりのある ひきざんを
いっしょに れんしゅう します。

$11 - 3 = \square$

$10 - 7 = \square$

$5 - 4 = \square$

$12 - 5 = \square$

$13 - 9 = \square$

$7 - 0 = \square$

$15 - 5 = \square$

$12 - 7 = \square$

$10 - 4 = \square$

$11 - 0 = \square$

$14 - 8 = \square$

$9 - 4 = \square$

$17 - 9 = \square$

$16 - 5 = \square$

学びの教室 授業指導案

クラス	8 月 2 週目
対象年齢：	作成者： 眞本 千恵

テーマ たし算の筆算の良さに気付き、生活の中で使えるようにする。

めあて くり上がりのない加法の筆算は位をそろえて書くことに気付かせ、位ごとに計算すればよいことを理解できるようにする。くり上がりのある筆算の加法の筆算の仕方を理解できるようにする。

時間	めあて	指導教材	板書No.	授業展開と留意点	生徒の行動
10分	<導入> 視覚トレーニング				先生の話聞く。
20分	くり上がりのない加法の筆算の問題を知り、めあてをつかむ	プリント	板書No.1	①30円のガムと15円のあめを買います。合わせて何円になりますか？②筆算形式にして考えさせる③位をそろえて書き位ごとに計算する(はじめに一の位から計算させ、次に十の位を計算させる)④プリント学習をする。(特別支援プリント初級、ゆっくりさんすうプリント)	①先生の出した問題をみて答えを出す。②プリント学習をする。
20分	くり上がりのある加法の筆算の問題を知り、めあてをつかむ	プリント	板書No.2	①34+28を筆算する方法を考える②くり上がりのあるときの筆算の仕方考える③筆算の手順を示す④プリント学習をする。(特別支援プリント初級、ゆっくりさんすうプリント)	①先生の出した問題をみて答えを出す。②プリント学習をする。
10分	読み聞かせ				

宿題 のびじゃん

板書No.1	板書No.2	板書No.3
30+15	34+28	

⑧ <くり上がりがない>だし算の筆算

③ 横書きの式で確かめる(1)



ひっ算を しましょう。

教材の示すように、<くり上がりがない>だし算は、筆算から「〇+△=□」にする練習もさせて、どちらの意味も同じであることを、読みながら確認しましょう。

指導記 (できたら〇で囲みましょう)

なまえ

月 日

52

$$\begin{array}{r} + 14 \\ \hline \end{array}$$

!!!

$$52 + 14 = \square$$

34

$$\begin{array}{r} + 20 \\ \hline \end{array}$$

!!!

$$\square + \square = \square$$

33

$$\begin{array}{r} + 5 \\ \hline \end{array}$$

「5」は
十の<らしいの
数が<ないね。>

!!!

$$\square + \square = \square$$

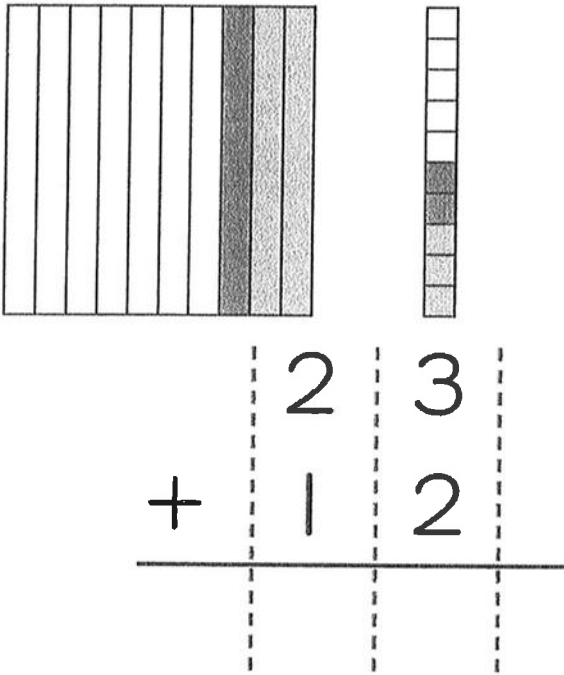
れんしゅう

くらいを そろえて かこうね。

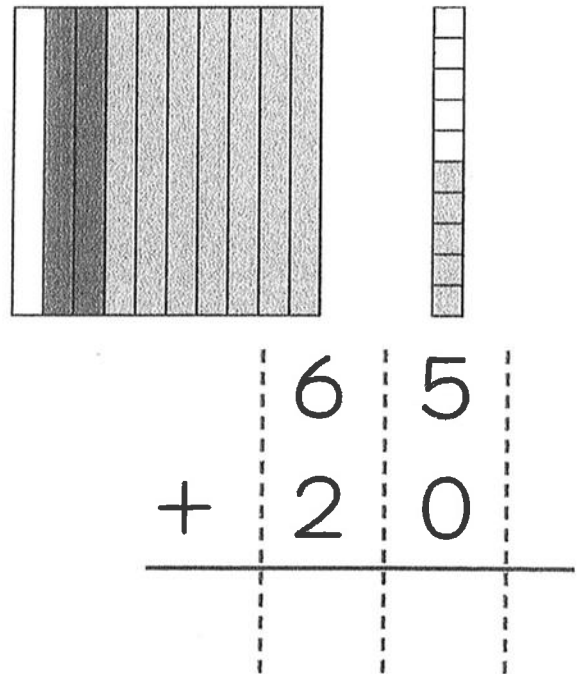
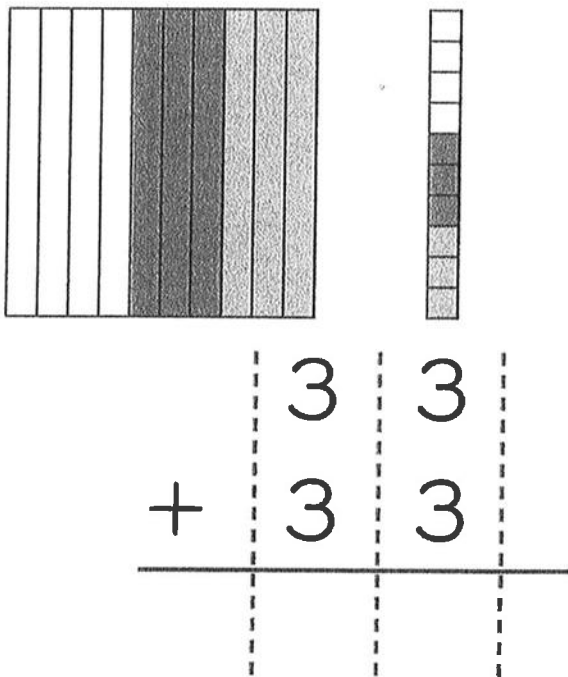
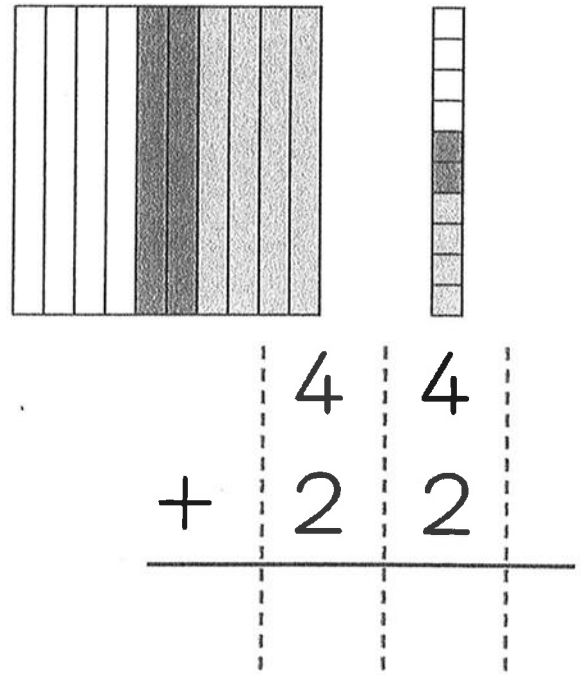
やくそく

- ①一のくらいから けいさん しましょう。
- ②それから 十のくらいを かきましょう。

十のくらい 一のくらい



十のくらい 一のくらい

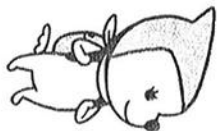


くり上がりのあるたし算の筆算

2けた同士の計算

教材のポイント
くり上がりのある筆算で、答えを基に入力欄の手がかりに塗りさせてみます。同じタイアの問題を何度も練習して、手順を覚えさせましょう。

指の記 (できたら○で囲みましょう)
① たし算のたし算
② たし算のたし算
③ たし算のたし算
④ たし算のたし算



くり上がりのあるひっ算をしましょう。

月 日

なまえ

3つの数をたします。

十のくらゐに1くり上げる。

<input type="text"/>	1	5
+	2	9

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

14

15 + 29 =

くり上げる。

<input type="text"/>	7	5
+	3	5

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

17 + 35 =

くり上げた数をわすれないでね。

<input type="text"/>	5	8
+	2	6

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

58 + 26 =

れんしゅう くらいを そろえて かこうね。

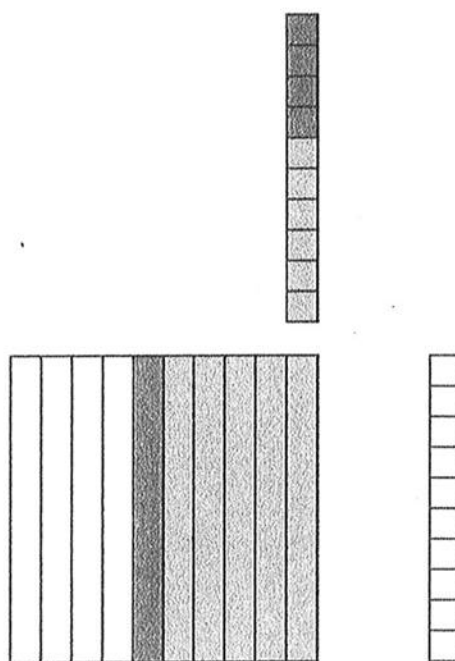
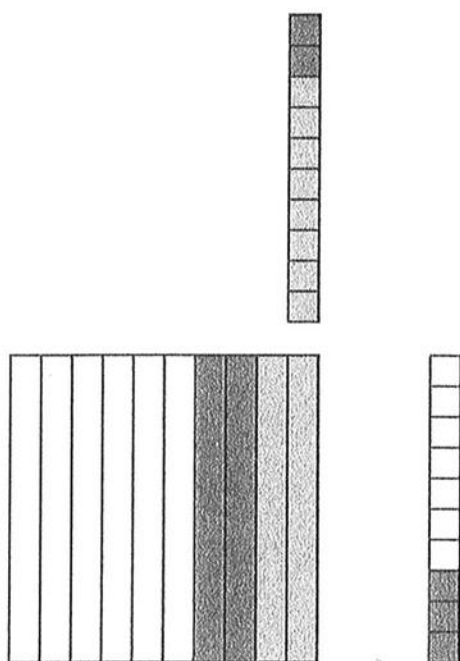
やくそく

- ①一のくらいから けいさん しましょう。
- ②くりあがりの かずを かきましょう。
- ③それから 十のくらいを けいさん しましょう。

こたえの ヒント

十のくらい 一のくらい

十のくらい 一のくらい



$$\begin{array}{r}
 \square \\
 28 \\
 + 25 \\
 \hline
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 \square \\
 56 \\
 + 14 \\
 \hline
 \end{array}$$

¹一のくらいから たしざんを しましょう。
くりあがりの かずを わすれないで やりましょう。

$$\begin{array}{r} \square \\ 48 \\ + 14 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \square \\ 39 \\ + 22 \\ \hline \end{array}$$





$$\begin{array}{r} \square \\ 26 \\ + 56 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \square \\ 45 \\ + 25 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \square \\ 34 \\ + 38 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \square \\ 39 \\ + 11 \\ \hline \end{array}$$

ゆりさんと おねえさんが かいものに きました。

ドーナッツ	クッキー	ロールケーキ	チョコケーキ
			
35えん	15えん	20えん	55えん

☆ゆりさんは ドーナッツと ロールケーキを かいます。
あわせて いくらに なりますか。

しき

けいさん

こたえ

☆おねえさんは クッキーと チョコケーキを かいます。
あわせて いくらに なりますか。

しき

けいさん

こたえ

学びの教室 授業指導案

クラス _____
 対象年齢： _____

8 月 3 週目
 作成者： 眞本 千恵

テーマ	引き算の筆算の良さに気づき、生活の中で使えるようにする。
めあて	くり下がりのない減法の筆算を理解し、くり下がりのある筆算の減法の筆算の仕方を考える活動を通して一の位が引けない場合は、十の位の束をくずして、一の位に繰り下げて計算すればよいことに気付かせ、減法の仕方を理解できるようにする。

時間	めあて	指導教材	板書No.	授業展開と留意点	生徒の行動
10分	<導入>視覚トレーニング				先生の話聞く。
10分	くり下がりのない減法の筆算の問題を知り、めあてをつかむ	プリント	板書No.1	①35円のガムと12円のあめを買います。どちらがどれだけ高いですか？②筆算形式にして考えさせる③位をそろえて書き位ごとに計算する(はじめに一の位から計算させ、次に十の位を計算させる)④プリント学習をする。(特別支援プリント初級、ゆっくりさんすうプリント)	①先生の出した問題を見て答えを出す。②プリント学習をする。
20分	くり下がりのある減法の筆算の問題を知り、めあてをつかむ	プリント	板書No.2	①53-26を筆算でする方法を考える②一の位が引けないときの筆算の計算のしかたを考えさせる。③くり下がりのあるときの筆算の仕方を考える④筆算の手順を示す⑤プリント学習をする。(特別支援プリント初級 ゆっくりさんすうプリント)	①先生の出した問題を見て答えを出す。②プリント学習をする。
10分	100からの引き算を学ぶ	プリント	板書No.3	①100-24を考えさせる②一の位からは引けないという判断をさせる③百の位から十の位へくり下げ、くり下げた数を9個と1個へ分解する④十の位に9個残して1個は一の位へ移動させ、一の位を計算させる。⑤十の位の計算をさせる。	先生の手順にしたがって計算する。
10分	読み聞かせ				

宿題 のびじゃん

板書No.1	板書No.2	板書No.3
35-12	53-26	100-24

れんしゅう

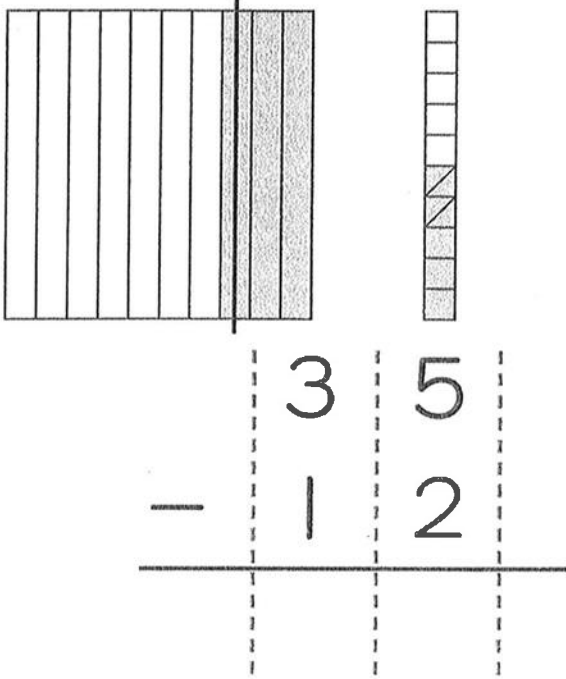
くらいを そろえて かこうね。

やくそく

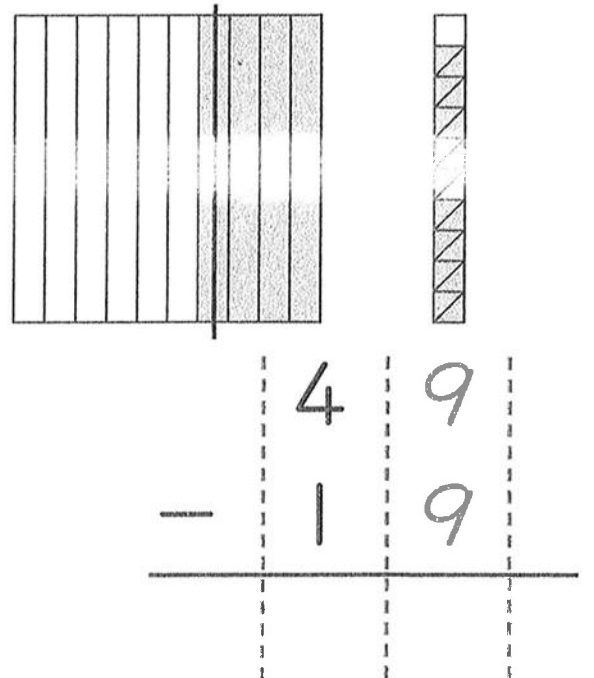
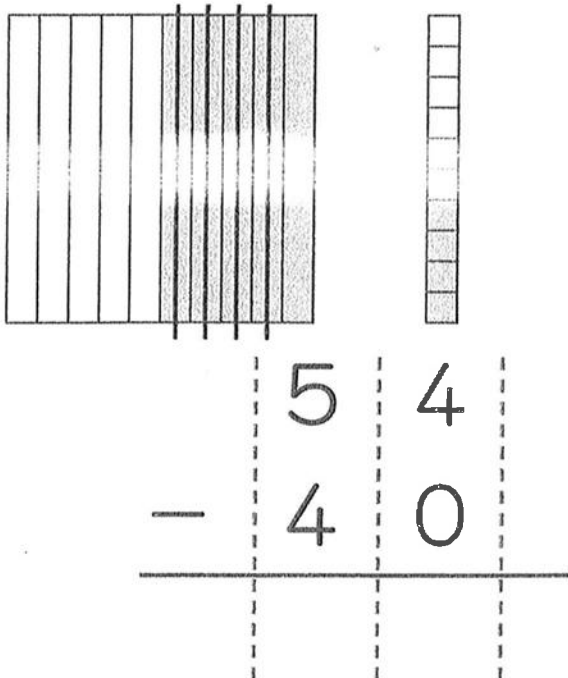
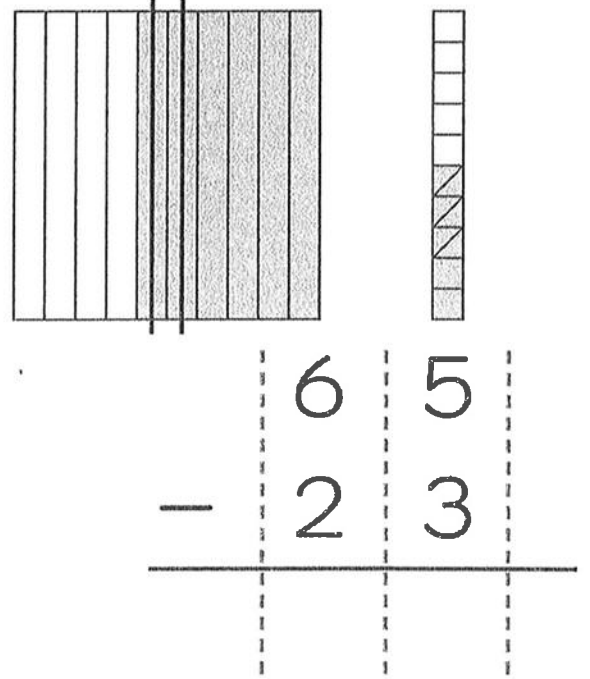
①一のくらいから けいさん しましょう。

②それから 十のくらいを けいさん しましょう。

十のくらい 一のくらい



十のくらい 一のくらい

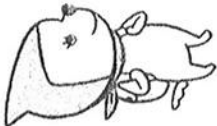


8 くり下がりのあるひき算の筆算

② 2けた同士の計算

教材のねらい

くり下がりのある筆算で、**1**次を借り入れる様子を十分に理解させよう。ひかれる数の一の位が0の計算から練習させ、できるよにならなければ以外の数の計算も取り入れよう。



くり下がりのあるひき算をしましょう。

すく
少なく
なる

$$\begin{array}{r} \square \\ 50 \\ - 18 \\ \hline \square \end{array}$$

10

$$\begin{array}{r} \square \\ 45 \\ - 16 \\ \hline \square \end{array}$$

15-6

$$\begin{array}{r} \square \\ 52 \\ - 29 \\ \hline \square \end{array}$$

12-9

4-1
です。

$$50 - 18 = \square$$

$$45 - 16 = \square$$

$$\square - \square = \square$$

なまえ
月 日

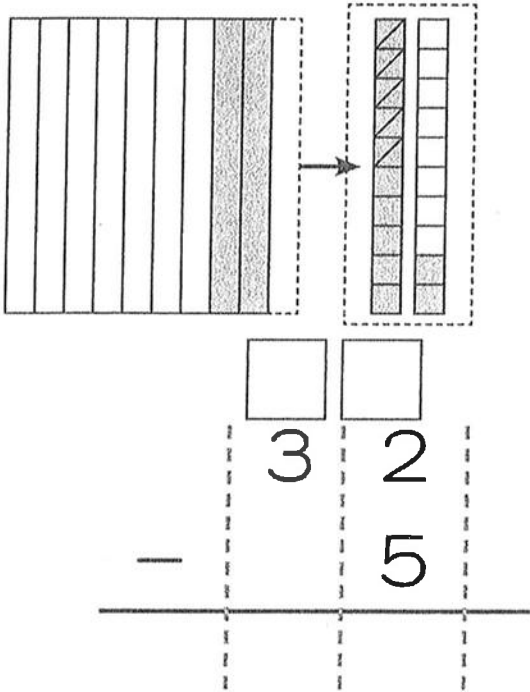
れんしゅう

くらいを そろえて かこうね。

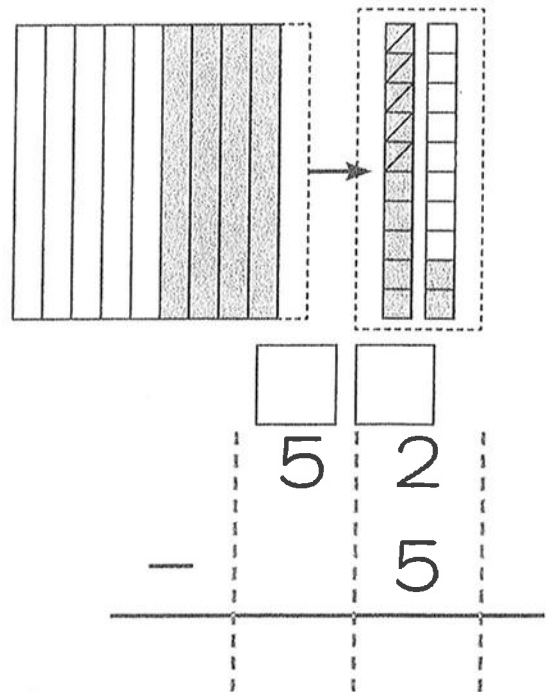
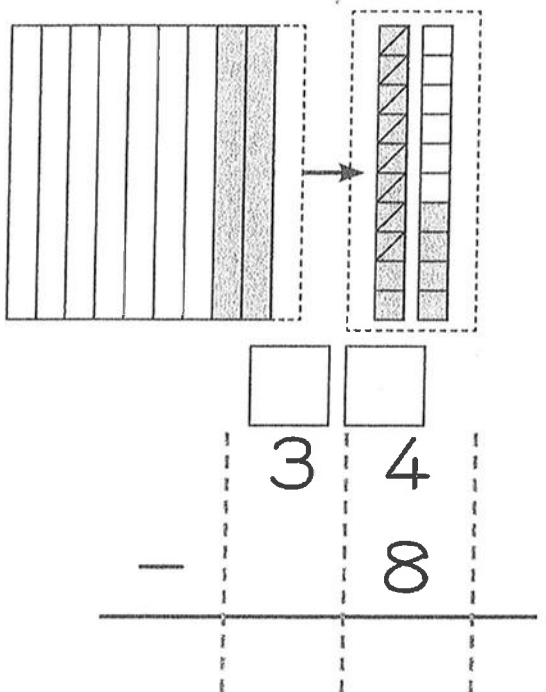
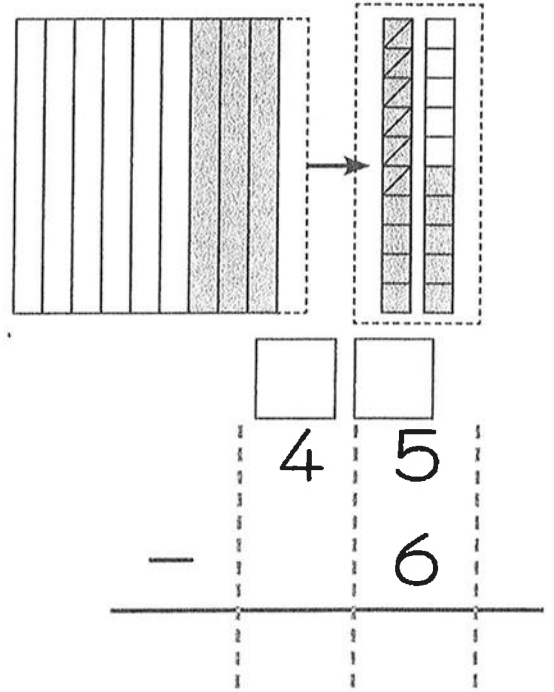
やくそく

- ①一のくらいから けいさん しましょう。
- ②くりさがりの かずを かきましょう。
- ③それから 十のくらいを けいさん しましょう。

十のくらい 一のくらい



十のくらい 一のくらい



¹
一のくらいから ひきざんを しましょう。
くりさがりの かずを かいて やりましょう。

$$\begin{array}{r} \square \square \\ - 51 \\ \hline 29 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \square \square \\ - 35 \\ \hline 16 \end{array}$$

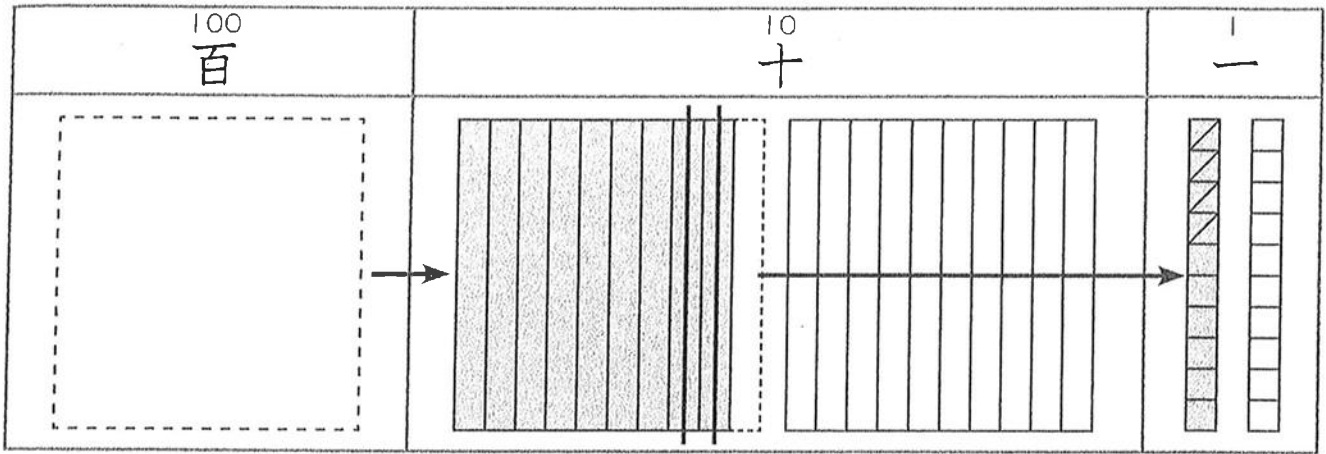
$$\begin{array}{r} \square \square \\ - 22 \\ \hline 15 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \square \square \\ - 40 \\ \hline 26 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \square \square \\ - 56 \\ \hline 48 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \square \square \\ - 80 \\ \hline 75 \end{array}$$

てほん



①一のくらはひけないね。

十のくらしからも
かりられないね。

百のくらしから 十のくらしへ
1かりよう。

100が 1に → 10が 10こ

↳ 9こ のこして 1に 一のくらしへ

$$10 - 4 = 6$$

②十のくらしでは 10が 9こ のこっているね。

$$9 - 2 = 7$$

③百のくらしは 1へったから

1 → 0 いちばん ひだりの 0は かかない。

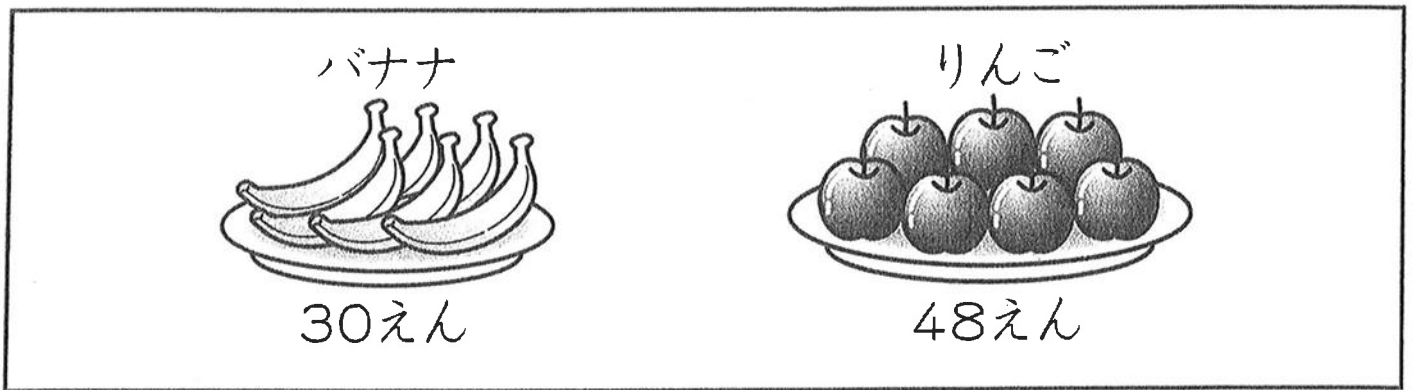
0	9	1
✖	0	0
-	2	4
	7	6

れんしゅう

☆一のくらしから
けいさん しましょう。

1	0	0
-	2	4

まゆみさんが くだものを かいます。



☆バナナと りんごは どちらが いくら たかいですか。

しき

けいさん

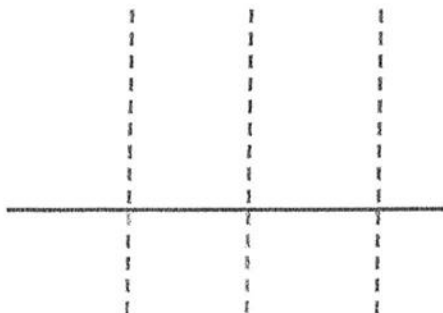


こたえ _____

☆まゆみさんは りんごを 1こ かって 50えん
はらいました。 おつりは いくらですか。

しき

けいさん



こたえ _____